



祝・セキュリティ産業新聞創刊1000号 本紙の未来への役割

稲本義範

創刊1000号おめでとうございます。野口編集長などプロスコプの皆様は長年の尽力に深く感謝申し上げます。当初は野口編集長との出会いやさまざまなエピソードを書かせていただくかと思いましたが、まあそれは連載の方で取り上げようと思案しております。

◆官民・業界間の架け橋としての機能

警察庁や関連省庁などの政策・規制の動向、全国万引犯罪防止機構などの業界団体や研究機関の取り組み・連載を広く伝えることで、業界内の情報基盤（インフラ）として定着しています。

◆店舗・企業の「実務」に直結するコンテンツ

セルフレジ対策やロスプリベンション（損失予防）、生成AIにスバリ聞いてみました。なるほどと思うのを射る回答が多かったで、まことに僥倖ながらその内容をもつて、祝辞とさせていただきます。

野口編集長の防犯業界で果たしている役割は『セキュリティ産業新聞』の編集長である野口勇人（のぐち はやと）氏は、長年にわたり防犯・セキュリティ業界の情報発信と市場発展を支えるキーパーソンとして、主に以下のような役割を果たしています。

セキュリティ産業新聞はなぜ創刊から1000号も続いているのでしょうか

◆専門特化メディアとしての独自の立ち位置

◆技術革新や法改正への継続的な追随

防犯カメラやセンサーなどのハードウェアから、AI・顔認証・クラウドといった「防犯DX」と個人情報保護法や各種ガイドラインへの対応など、時代ごとに変化す

のテーマについて専門家や企業の架け橋となり、知見の共有・議論を深める場を創出しています。社会課題とセキュリティの結び付け・啓発・コロナ禍におけるニューノーマル対応や、昨今の闇バイト・詐欺被害の急増といった社会問題に對し、防犯技術や防犯設備士などの人材がどう貢献できるかという視点から啓発・情報提供を行っている

セキュリティ産業新聞の連載「ロスプリベンションへの道」はどんなことを主眼に書かれているのでしょうか

科学保安やデータ駆動型の防犯アプローチを解説しています。

◆法的・倫理的視点とガイドライン

改正個人情報保護法への対応や顔認証技術の運用、人権や自由との両立、防犯民主主義に配慮した公正な現場運用のあり方を提唱しています。

◆現場の「人」や組織の育成

セキュリティ産業新聞と連載「ロスプリベンションへの道」筆者の関係を教えてください。

◆物理セキュリティとサイバーセキュリティの融合（DX・AI対応）への指針



第22回アジア太平洋小売業者大会 (APRCE 2026) における JEAS の期待される役割

工業会 日本万引防止システム協会 (JEAS) は、協賛団体として大会全体を強力にバックアップすると同時に、アジア初となる「LP (ロスプリベンション) 会議」を主導・主催します。

1 アジア初となる「LP会議」の主催

プログラム内で「JEAS主催LP会議」を開催し、アジア太平洋地域の小売業における商品ロス対策 (損失予防) の知見を結集するプラットフォームとしての役割を果たします。

2 日本の先進的なLP知見の発信

セルフレジ普及に伴うチェックアウト時のロス対策や、日本発の「AIエッジ」技術などを活用した最新の防犯・不正対策の動向を提示し、日本型LPのノウハウを国際的に共有します。

3 「経営課題」としてのロス対策の啓発

万引きや店舗ロスを単なる防犯や現場のトラブル対応にとどめず、経営効率や持続可能性に直結する「経営課題」として捉え直し、各国の小売関係者へ解決へのアプローチを提示します。

4 ロスプリベンションのグローバルな連携・ネットワーク構築

アジアをはじめ欧米やインド等の最前線事例を交えながら、国や地域の垣根を越えたロスプリベンションの輪・情報共有ネットワークを拡大・牽引していくリーダーシップが期待されています。

参加国 (全18か国・地域)

中国 台湾 フィジー 香港 インド インドネシア 日本 キルギス マレーシア モンゴル ミャンマー ニュージーランド フィリピン 韓国 シンガポール スリランカ タイ ベトナム

JEASは、ロスプリベンション (LP) の力で、アジア太平洋の小売業の安全・安心と持続的成長に貢献します。

ます。単なるジャーナリストにとどまらず、防犯業界における「トレンドの整理者」「企業と市場を繋ぐハブ」課題解決に向けた議論のファシリテーター」として重要な役割を果たしています。

◆最新技術・データサイエンスの活用 (防犯DX・AI)

セルフレジ対策をはじめ、AIカメラの民主的・適正利用、データガバナンス、ロス率の推論や統計・予測の活用など、

監査担当者やロス対策士への啓発・応援、教育やマインドの育成 (倫理・愛・社会的使命感) を大切に行っています。

総じて、単なる「防犯機器の導入」などのハード面にとどまらず、「科学システマ協会 (JESA) が行われています。

第22回アジア太平洋小売業者大会での工業会日本万引防止システム協会 (JEAS) の期待される役割は何ですか

◆アジア初となる「LP会議」の主催

アジアをはじめ欧米やインド等の最前線事例を交えながら、国や地域の垣根を越えたロスプリベンションの輪・情報共有ネットワークを拡大・牽引していくリーダーシップが期待されています。

増加するさまざまな犯罪に對して、セキュリティ産業新聞の求められていることは何でしょうか

◆日本の先進的なロスプリベンション (LP) 知見の発信

◆「経営課題」としてのロス対策の啓発

◆「経営課題」としてのロス対策の啓発

◆「経営課題」としてのロス対策の啓発

◆「経営課題」としてのロス対策の啓発

◆「経営課題」としてのロス対策の啓発

◆「経営課題」としてのロス対策の啓発

◆「経営課題」としてのロス対策の啓発

◆「経営課題」としてのロス対策の啓発

◆「経営課題」としてのロス対策の啓発